

	定期接種の推奨期間
	定期接種の可能期間
	任意接種の推奨期間
	任意接種の可能期間

ワクチン名	接種間隔	対象者・注意事項
B型肝炎	①-②の間は4週、①-③の間はそれぞれ20-24週あける	定期：0歳で3回接種。 1歳以上でも未接種の場合は、早めに接種することを推奨
	①生直後 ②生後1か月 ③生後6か月	HBs抗原陽性の母親から生まれたHBs抗原陰性の乳児（健康保険適用）
ロタウイルス	生後6週以降、①は8週-15週未満を推奨（遅くとも生後14週6日までに開始） ・1価ワクチン：①-②は 4週以上あける ・5価ワクチン：①-②-③は 4週以上あける	・1価ワクチン： 生後6週から6か月(24週) までに完了する ・5価ワクチン： 生後6週から8か月(32週) までに完了する
ヒブ (インフルエンザ菌b型)	・初回接種が生後2か月-6か月：①-②-③の間はそれぞれ27日以上、③-④の間は7か月以上あける。①-③までを12か月までに終了する。 ・初回接種が生後7か月-11か月：①、②の後は7か月以上あけて③ ・初回接種が1歳-4歳：①のみ	生後2か月以上から5歳の前日まで
小児肺炎球菌 (PCV13)	・初回接種が生後2か月-6か月：①-②-③の間はそれぞれ27日以上あける、③-④の間は60日以上あけて、1歳から1歳3か月で④を接種 ・初回接種が生後7か月-11か月：①、②の接種後60日以上あけて1歳以降に③ ・初回接種が1歳-生後23か月： ①、②を60日以上あける ・初回接種が2歳-4歳：①のみ	生後2か月以上から6歳の前日まで
肺炎球菌 (PPSV23)	定期： ・平成30年度までは、65歳以降に5年ごと、平成31年度以降は65歳 (参照:おとなのワクチン)	任意：2歳以上 対象者：(1)脾臓摘出した人の肺炎球菌予防(健康保険適用) (2)鎌状赤血球症、脾機能不全、心臓・呼吸器の慢性疾患、腎不全、肝機能障害、糖尿病、慢性髄液漏等の基礎疾患のある人、免疫抑制剤治療予定者(治療開始まで14日以上の余裕のある場合)
四種混合 (DPT-IPV: ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ) 二種混合 (DT:ジフテリア・破傷風) 三種混合 (DPT:ジフテリア・百日咳・破傷風) ポリオ (IPV)	①-②-③の間はそれぞれ20-56日あける ③-④の間は6か月以上あける (標準は終了後12-18か月の間) 11-13歳未満で二種混合を追加接種 (二種混合の代わりに三種混合(自費)接種可能) 不活化ポリオワクチンを4-6歳時に追加接種(任意) 百日咳予防目的で三種混合ワクチンを4-6歳時に追加接種(任意)	定期： 1期：生後3カ月-7歳半の前日まで (四種混合・三種混合・ポリオ) 2期：11歳-13歳の誕生日前日まで (二種混合) 任意：不活化ポリオワクチン： ポリオ流行地へ渡航するひと
破傷風 トキソイド	・1回目のあと3-8週後に2回目、1回目の12-18か月後に3回目 ・10年ごとに1回接種	対象者：・昭和43年以前の生まれ・過去に3回の接種歴がないひと・3回接種歴があるひとは10年ごとに1回接種

ワクチン名	接種間隔	対象者・注意事項
BCG		定期：12か月未満 標準的には、生後5か月から8か月
麻しん・風しん (MR)	①：1歳から2歳の誕生日の前日まで ②：5歳から7歳未満 (小学校就学前の1年間)	定期：①1歳、②年長児相当 任意：1歳以降全年齢接種可能 麻疹曝露後や流行地域では、生後6か月以降で接種可能。その場合は接種回数には数えず、①、②は規定通り接種する
水痘	①：1歳以降 早期に ②：1回目から3か月以上あける	定期：1歳から3歳の誕生日前日まで 任意：1歳以降全年齢接種可能
おたふくかぜ	①：1歳以降 早期に ②：5歳-7歳未満(小学校入学前の1年間) ①から4週間あければ接種可能	任意：1歳以降全年齢接種可能
日本脳炎	①-②の間は6日以上(-28日) あける ②-③の間は6か月以上あける ④：9歳-13歳未満 参照 http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou20/annai.html	定期：1期：3歳から7歳6か月 (自治体によっては生後6か月から開始) 2期：9歳以上13歳未満 任意：生後6か月以降全年齢接種可能 2005年5月からの積極的勧奨の差し控えを受け、特定対象者(1995年4月2日から2007年4月1日生まれのみ)は、20歳の誕生日前日までは定期接種可能。2007年4月2日から2009年10月1日生まれのみは生後6か月-7歳半の前日までと9歳-13歳の誕生日までに第1期の接種可能
インフルエンザ	13歳未満：1回目-2回目の間は4週(2-4週) あける	任意：生後6か月以上全年齢 定期：65歳以上(成人のスケジュール参照)
HPV (ヒトパピローマウイルス)	2価ワクチン	
	①-②の間は1か月以上あける ③は①から5か月以上かつ②から2か月以上あける	定期：小学校6年から高校1年女子 任意：10歳以上 20歳以上の方の接種は、医療機関にご相談ください
	4価ワクチン	
	①-②の間は1か月以上あける ②-③の間は3か月以上あける	定期：小学校6年から高校1年女子 任意：9歳以上 20歳以上の方の接種は、医療機関にご相談ください
髄膜炎菌		対象者：2歳以上 (1)髄膜炎菌感染症流行地域へ渡航するひと (2)学校の寮などで集団生活を送るひと、送る予定のひと (3)大勢の人の集まるところに行く予定のひと(コースのキャンプ、コンサート、スポーツ観戦など) (4)ハイリスク患者(HIV感染症、補体欠損症、無脾症、ソリリス治療患者など)
A型肝炎	1回目-2回目の間は2-4週あける 1回目-3回目の間は20-24週あける	任意：全年齢接種可能 対象者：A型肝炎流行地へ渡航するひと